

南ユタ報告書

曾我みのり

南ユタでの生活 8月27日～9月28日

◆気温

日中30度以上で大変暑く日差しも強いです。しかし夕方になると羽織ものが必要なぐらい冷えることがあります。寒暖の差が激しいのが特徴です。また、空気が乾燥しているので、保湿系のボディークリームなどがあると重宝すると思います。

◆ネット環境

Wi-Fi環境は大変整っていると言ってよいでしょう。大学はどこでもFi-Wiが使えます。参加者6人のうち全員のホームステイ先もFi-Wiが使えました。さらにどのスーパーやレストランでもほとんど無料Wi-Fiが飛んでいました。そこで海外用のケータイを準備しなくてもあまり苦労しないと思います。

◆宗教について

人口の大半がモルモン教というキリスト一派の宗教を信仰しています。モルモン教の人々はアルコールを飲まなかったり、タバコを吸わなかったりなどいくつかの決まりごとがあるので注意が必要です。アルコールは飲みものだけではなく、ドレッシングや加工食品などに使われていることもあるので、日本から何か食材をもっていく場合は気をつけるとよいかもしれません。土曜日は、お祈りの日で必ず協会に出かけます。また興味深い特徴としては、モルモン教の人々の大半は大家族です。子どもが5人いる家庭なども珍しくありません。また結婚が早く高校生や大学時代に結婚する人も少なくありません。

◆食べ物



アメリカのお菓子

日本と比べてほとんど野菜を摂取しない印象です。想像できるかもしれませんが何もかもサイズが大きくカロリーが高いものが多いです。(わたしは4キロ太りました・・・笑)ハンバーガーやサンドウィッチが非常にメジャーな食べ物で大半の人々が食べています。またチャイニーズレストランやメキシカンフードも有名で多くのお店があります。アイスやケーキなども非常に大きく日本では考えられないぐらい甘さが強いです。

◆お金について

クレジットカードが使えないところは無いとあっていいほど、どの店でもカードが使える

す。カードの種類は、VISAがお勧めです。JCBは使えないところがあります。なので、現金は必要最低限にして、カードで生活するというのもひとつの手です。個人的な観光資金やお土産を別にすれば、学生生活でそこまでたくさんのお金は必要ないと思います。

◆ホストファミリー

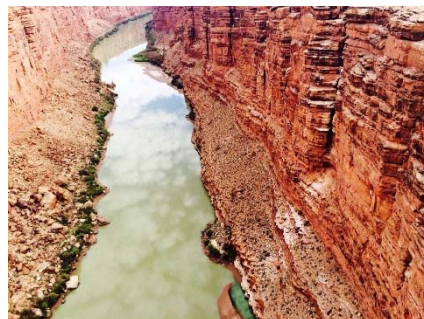


パレスチナ料理

ホストファミリーは、その家庭によって非常に個人差があります。私の家庭は、アメリカ人ではなくパレスチナ人で両親ともに大学の教師をしていました。子どもは、中学生の男の子1人・高校生の男の子1人・大学生の女の子1人の5人家族でした。宗教はイスラム教を信仰しており、ご飯はいつもパレスチナ料理でした。大きな庭があり様々な果物を栽培していて、それを食べていました。少々心配性で、門限が厳しい家庭でもありました。言葉が通じない分、勘違いや思い違いが起きることがあります。めげずに何度もコミュニケーションをとるように頑張ってください。

◆休日の過ごし方

ホストファミリーと映画を見たり、買い物をしたりしてのんびり過ごす日や、大学でできた友達とご飯に行くなど様々な過ごし方をしました。洋服は日本よりも安く手に入れることができます。また日本人参加者と一緒にグランドキャニオンやラスベガスなど大きな観光にも行きました。ラスベガス方面や近くのサンジョージという大きな町には、公共のバスも出ているので調べてみるよいかもかもしれません。



グランドキャニオン

◆授業について

基本的に、参加者の教育大の日本人だけの授業が中心です。しかし金曜日には、ESL（世界中の留学生が英語を学んでいる大学内の機関）との交流があり友達を作ることができます。また一緒に行うアクティビティーや授業もあります。先生はもちろん日本語をしゃべることができません。しかしわかりやすく何度も話してくれるので、安心して行って大丈夫です。話すことができませんでしたが、帰るころには、簡単な英語であれば理解し、第二外国語同士の会話（英語が母国語ではない人との会話）であればそれなりにできるようになりました。